産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 14日

山口県知事 様

提出者

住 所 山口県宇部市大字小串1978-10 氏 名 宇部エムス有限会社

代表取締役 雪本 和則

電話番号 0836-31-0213

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	宇部エムス有限会社(ラウロラクタム工場)
事	業場の所在地	山口県宇部市大字小串1978-96
計	画 期 間	令和6年4月1日~令和7年3月31日
当計	亥事業場において現に行 -	っている事業に関する事項
	①事業の種類	化学工業
	②事業の規模	22,096百万円
	③ 従 業 員 数	2 4 人
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	・汚泥 →処理業者に委託して焼却処理 ・廃プラスチック類 →処理業者に委託して焼却処理 ・木くず →処理業者に委託して焼却処理

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図)

統括マネージャー:廃棄物処理に関する最終責任者

製造マネージャー:廃棄物の事業所内の分別、管理責任者

業務担当者 : 廃棄物処理の委託業務(マニフェスト発行、管理) 実施

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

来 来 が が か い か か い か 市 い い か 市 い い の い の の い の の い の の	.							
	【前年度(令和 5	年度) 実績】						
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり						
	排 出 量	t	t					
① 現状	(これまでに実施した 安定操業を継続し、集 げている。	と取組) 製品収率を向上させること	こで廃棄物削減につな					
	【目標】							
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり						
	排 出 量	t	t					
②計画	(今後実施する予定の取組) これまでの取り組みを継続していく。							

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の種類ごとに容器に分け、他の廃棄物が混入しないように管理している。 ②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の取り組みを継続する。

(第3面)

自	ら行う産業廃棄物の再生	利用に関する事項									
		【前年度(令和 5 年度)実績】									
		産業廃棄物の種類									
		自ら再生利用を行った t	t								
	① 現状	産業廃棄物の量									
		(これまでに実施した取組)									
		特になし。									
		【目標】									
		産業廃棄物の種類									
		自ら再生利用を行う t	t								
	②計画	産業廃棄物の量									
		(今後実施する予定の取組)									
		特になし。									
自	ら行う産業廃棄物の中間 「	処理に関する事項									
		【前年度(令和 5 年度)実績】									
		産業廃棄物の種類									
		自ら熱回収を行った t	t								
		産業廃棄物の量自ら中間処理により減量した									
	① 現状	産業廃棄物の量	t								
		(これまでに実施した取組)									
		特になし。									
		【目標】									
		産業廃棄物の種類									
	②計画	自ら熱回収を行う	t								
		産業廃棄物の量自ら中間処理により減量する									
		産業廃棄物の量	t								

	(今後実施する予定の取組)
	特になし。

(第4面)

自	ら行う産業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分	に関する事項										
		【前年度(令和 5	年度) 実績】										
		産業廃棄物の種類											
	① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t									
		(これまでに実施した取組)											
		特になし。											
		【目標】	【目標】										
		産業廃棄物の種類											
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t									
	- 100 Marian 1990	(今後実施する予定の取組)											
		特になし。											
産美	業廃棄物の処理の委託に	関する事項											
		【前年度(令和 5	年度) 実績】										
		産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり										
		全処理委託量	t	t									
	① 現状	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t									
		再生利用業者への 処理委託量	t	t									
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t									
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t									

(これまでに実施した取組)

書面による契約を適正な処理業者と結んで処理を実施している。

(第5面)

	【目標】	【日保】								
	産業廃棄物の種類	別紙2-1のとおり								
	全処理委託量	t	2							
	優良認定処理業者への 処理委託量	t								
	再生利用業者への 処理 委託 量	t	3							
0-1	認定熱回収業者への 処理委託量	t								
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t								
	(今後実施する予定の 今後も優良委託業者に	の取組) こ依頼し、定期的に現地研	確認を行う予定。							
(事務処理欄										

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請 完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ 事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
 - 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
 - 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
 - 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
 - 7 ※欄は記入しないこと。

多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(補足)(令和6年度計画)

多量排出事業者 名 称 字部エムス有限会社(ラウロラクタム工場) 所在地(市町名) 字部市 事業の種類 化学工業

(単位:トン)

																							排出抑制に	関する事項	自ら行う再生利	用に関する事項		自ら行う中間処	理に関する事項		自ら行う埋立処分	分等に関する事項					処理委託に	関する事項				(単位:トン)
			排出	量	自ら再生 産業廃	利用を行う 棄物の量	自ら熱回 産業廃]収を行う 棄物の量	自ら中間処理 産業廃	により減量する 棄物の量	自ら埋立処分又に 行う 産業	は海洋投入処分を 廃棄物の量	全処理	委託量	優良認定処: 処理委	理業者への 託量	再生利用 処理:	3業者への 委託量	認定熱回処理	又業者への 委託量	認定熱回収業者を行う業者へ	者以外の熱回収 の処理委託量																				
	種	類	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画																				
燃	え殻																																									
汚	泥		7,864	7,800									7,864	7,800	7,864	7,800																										
廃	油																																									
廃	酸																																									
廃.	アルカリ																																									
廃	ブラスチック類	i	100	99									100	99	100	99																										
紙<	くず																																									
木	くず		0	1									0	1	0	1																										
繊維	維くず																																									
動相	植物性残さ																																									
動物	物系固形不要	物																																								
ゴ.	ムくず																																									
ガラ	ラスくず、コンク! 磁器くず	リートくず、																																								
がね	れき類																																									
動物	物のふん尿																																									
動物	物の死体																																									
ばし	いじん																																									
13	3号廃棄物																																									
	計	(A)	7,964	7,900	0	0	0	0	0	0	0	0	7,964	7,900	7,964	7,900	0	0	0	C	0	0																				
	汚廃廃廃紙木繊動動ゴ金売鉱が動動は	燃え殻 汚泥 廃油 廃アルカリ 廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維が性残さ 動物新園形不要 ゴムくず 金属くず、コンク 動物の死体 はいい がれき類 動物の死体 はいにん 13号廃棄物	燃え殻 汚泥 廃油 廃散 廃アルカリ 廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず 動植物性残さ 動物系固形不要物 ゴムくず 金属くず、コンクリート(ず、鉱さい がれきにい があるのあん尿 動物の死体 ばいじん 13号廃棄物	様は 類 現状 歴え設 汚泥 廃油 廃油 廃酸 廃アルカリ 東ブラスチック類 100 紙(ず) 木(ず) 動機を(す) 動物系面形不要物 ゴム(ず) 金属(ず) ガラスギ(コンウリート(ず) 総はない がれき類 動物の元人尿 動物の元体 ばいじん 13号廃棄物	燃え敏 万泥	#出量 自ら再生産業廃 現状 計画 現状 燃え般	接出量 自ら再生利用を行う 産業保険物の量 現状 計画 またい またい	接出量 自ら第年利用を行う 自ら熱度 東東 東	接出量 自ら馬生利用を行う 度素廃棄物の量 現状 計画 また また また また また また また ま	#出量 自ら再生利用を行う 自ら数回収を行う 度素廃棄物の量 日ら中間処理 度素廃ま 類のの量 現状 計画 現状 記述	接出量 自ら再生利用を行う 自ら数回収を行う 倉本原棄物の量 日ら中間処理により減量する 産業原棄物の量 現状 計画 のまた は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	排出量 自ら再生利用を行う 自ら前回収を行う 自ら中間短頭により減量する 自ら連立配分又 行う 産業 発表物の量 現状 計画 現状 目 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	接出量 自ら再生利用を行う 自ら機関収を行う 自ら中間処理により減量する 自ら型立場分又は海洋投入処分を行う 意意疾棄物の量 現状 計画 現状 記述 現状 記述 記述 記述 記述 記述 記述 記述 記	#出量 自ら再生利用を行う 雇業廃棄物の量 自ら他回放を行う 雇業廃棄物の量 自ら埋立船分又は海洋投入机分を 介方 産業廃棄物の量 現状 計画 ほどう また	接出量 自ら再生利用を行う 自ら機図吹き行う 自ら中間処理により減量する 自ら理立処分又は海洋投入処分を 全処理委託量 接換	接出量 自ら再生利用を行う 自ら解放型により減量する 自ら確立処分に海洋投入処分を	接出度 自ら離島域の行う 自ら熱島域の行う 自ら神域を調け入場ができる 自ら性の及う又は海洋投入を分を 全処域を託金 から電子託金 から電子 できない から電子 できない からでは からでは からでは からでは からでは からでは からでは からでは	接近型 自ら第三利用に対し 自ら第三列形に対し 自ら第三列の公式 第二形 NBの 全処理支配 第2	接近 お近 お近 お近 お	接出度 おままが おおお おお おお おお おお おお	日本日本	接出現 Bix Bi																				

別紙2-1